

# こころん だより

Vol. **3**

2017 Winter



こころん

## ■ 特集1

### 一人ひとりの尊厳が守られる地域へ ～ 権利擁護センターの取り組み ～

文：(社福)高知県社会福祉協議会・権利擁護センター

## ■ 特集2

### 「人権週間」をご存じですか？





■ 特集1

# 一人ひとりの尊厳が 守られる地域へ

～ 権利擁護センターの取り組み ～

文：(社福)高知県社会福祉協議会・権利擁護センター

## 障害者虐待の防止に向けて

高知県社会福祉協議会では、県民誰もがどこの地域に暮らしていても尊厳が守られ、安心して心豊かに生活できることが保障される地域づくりを目指して、平成29年4月に権利擁護センターを設置しました。センターでは地域の中にある虐待の問題、権利擁護の課題、社会的孤立の問題に向き合い、虐待の予防・防止、成年後見制度の推進・支援、地域生活支援に取り組んでいます。

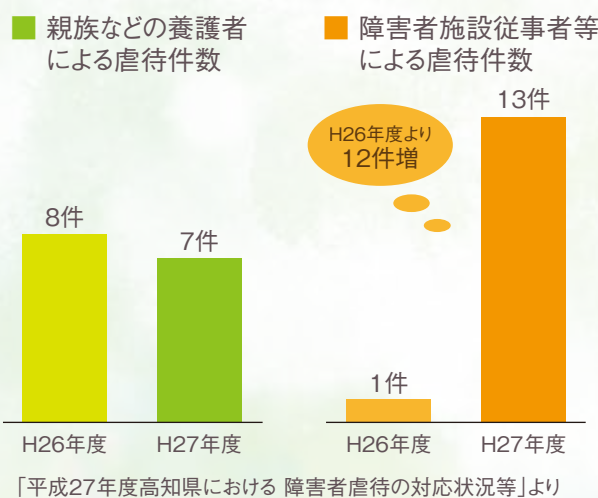
高知県が公表している「平成27年度高知県における障害者虐待の対応状況等」によると、県内の障害者に対する虐待件数は、親族などの養護者によるものが7件、障害者施設従事者等によるものが13件となっています。平成26年度と比較すると、養護者による虐待件数は1件減っていますが、障害者施設従事者等による虐待は12件増加しています。

こうした虐待の背景要因としては、障害者や虐待についての知識や介護技術の不足、感情のコントロール不足、障害者施設従事者としての適正の問題などがあげられます。虐待と気づかないまま起きているおそれもありますが、いずれの虐待事件についても、障害者を個人として尊重し、対

等に接する意識が欠如していると言えます。

これらの障害者に対する虐待を無くし、障害の有無に関わらず、誰もが安心して生活できる地域をつくるためには、皆で一人ひとりの尊厳について考え、権利擁護に関する意識を高めていくことが重要です。

特に虐待については、小さな兆候を見逃さずに早期に発見することが大切です。障害者虐待に気づいた人は、市町村の担当窓口へ相談・通報していただきたいと思います。障害者を雇っている事業主などによる使用者虐待についての相談・通報は当センターでお受けしています。



## 成年後見制度も活用して

また、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方の財産管理や福祉サービス等の契約、遺産分割の協議等を本人の不利益にならないように行う成年後見制度というものがあります。成年後見制度を活用することによって、消費者被害や虐待から本人を守ることができますが、全国的にもまだまだ利用が進んでいないと言われています。このため、国は今年の3月に成年後見制度利用促進基本計画を策定し、市町村にも計画策定を努力義務化しました。今後、成年後見制度の利用を促す取り組みが各地で展開されていきますので、成年制度について県民の皆さんに知っていただき、ぜひ活用していただきたいと思います。

権利擁護センターとしましても皆さんがもっと暮らしやすい高知県にするために、虐待防止・権利擁護に関する研修や成年後見制度の推進など、さらなる取り組みを充実・強化してまいります。県民の皆さんにも、目の前の一人ひとりの尊厳について考え、相手を大切にすることと、自分自身を大切にすることを意識して暮らしていただければ幸いです。



### 権利擁護センターについて

- 権利擁護センターは平成29年4月に高知県社会福祉協議会内に設置。
- 高齢者の総合相談や障害者の使用者虐待の通報受付、高齢者と障害者の虐待対応専門家チームの市町村への派遣事務、虐待や権利擁護についての研修などを実施。
- その他に子ども食堂に関する研修の実施や成年後見制度の推進支援を実施。

(ご相談・お問い合わせ)

〒780-8567

高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ4階  
月曜日～金曜日 8:30～17:15(年末年始・祝日除く)

TEL 088-850-7770 / FAX 088-844-3852

### コラム

## 「障害者週間」をご存じですか？



その1.

「障害者週間」は、  
毎年12月3日～12月9日の1週間

「障害者週間」は、平成16年6月の障害者基本法の改正により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障害者の日」(12月9日)に代わるものとして設定されました。

「国際障害者デー」である12月3日から我が国の「障害者の日」である12月9日までの1週間については、平成7年6月27日に障害者施策推進本部が「障害者週間」とすることを決定していましたが、これが法律に基づくものとなりました。



その2.

「障害者週間の集い」

第21回 じんけんふれあいフェスタ内にて開催！！

盲導犬にふれたり、一緒に歩いたり、普段あまりできない体験を通して、目の見えない人や見えにくい人への理解を深めてみませんか？その他、様々な障害についても一緒に考えていきます。

● 日 時 2017年12月10日(日) 9:30～15:30

● 場 所 高知市中央公園

● プログラム

10:40 ～ 心の輪を広げる体験作文

障害者週間のポスター

「障害者週間の集い」知事表彰

11:10 ～ 盲導犬デモンストレーション

11:30 ～ 盲導犬との体験歩行(第1部)

(定員:先着5名まで)

14:00 ～ 盲導犬との体験歩行(第2部)

(定員:先着5名まで)

### イベント内容

盲導犬ふれあいコーナー

普段お仕事中の盲導犬にはふれることはできませんが、特別にハーネスを外してふれあっていただけます。

盲導犬との体験歩行

アイマスクをして盲導犬と一緒に歩くことで目の見えない人、見えにくい人への理解を深めましょう。

お問い合わせ先

高知県 地域福祉部 障害保健福祉課

TEL 088-823-9663



毎年12月4日～12月10日

# 「人権週間」をご存じですか？



「人権週間」とは12月10日（人権デー）を最終日とする1週間のことです。発足の経緯は、1948年（昭和23年）12月10日の国連総会において、基本的人権及び自由を尊重し確保するために「世界人権宣言」が採択されたことがきっかけでした。

日本国内ではその翌年（昭和24年）から「人権週間」が定められ、以来、世界人権宣言の意義を訴えとともに人権尊重思想の普及高揚に努めています。



## 毎年恒例の じんけんふれあいフェスタ

人権啓発フェスティバル開催事業は、人権週間（12月4日～12月10日）を周知するとともに、私たちのまわりにある様々な人権問題について県民が関心を持ち理解を深めることができるよう、「明るく、楽しく」を基本とした啓発の場を提供することで、県民の人権意識の高揚を図ることを目的としています。

その中心となる「じんけんふれあいフェスタ」は、毎年「人権週間」期間の日曜日に、県民参加型のイベントとして開催されています。人権に関するパネル・資料の展示、人権相談、人権スタンプクイズラリー、ステージ（人権作文コンテスト表彰式、キャラクターショーほか）、子ども広場、物産展など、どなたでも人権について楽しく学んでいただけるイベントになっています。



催しその2

## 啓発・体験コーナー ワークショップなど

人権に関するパネル展示や、プラ板づくり・法律（犯罪被害者等）相談、思春期相談、認知症の方の介護に関する相談コーナーもあります。また、物産展など関係団体が様々な催しを行っています。



催しその3

## 人権スタンプクイズラリー

会場内の4箇所に、人権についてのクイズパネルを設置し、スタンプラリーをしながら、人権について楽しく学んでいただきます。



催しその4

## 「それいけ！ アンパンマン」ショー

「人を大切にする・人と仲良くする」ことをテーマに、子どもたちに人気の「それいけ！アンパンマンショー」を行っています。

もっと知りたい、  
体験したい！



## 第21回 じんけんふれあいフェスタ

～考えよう相手の気持ち  
未来へつなげよう 違いを認め合う心～

日時：2017年12月10日（日）9:30～15:30

場所：高知市中央公園

※イベントの詳細についてはセンターホームページ、告知チラシをご覧ください。

ぼくたちの  
記念撮影会もあるよ！  
みんなきてね！



催しその1

## 人権作文コンテスト高知県大会表彰式



法務省と全国人権擁護委員会は、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動の一環として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。これは次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことによって、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身に付けることを目的としています。

また、高知地方法務局と高知県人権擁護委員連合会では、本コンテストに併せて、高知県及び高知県教育委員会との共催により、小学5・6年生と高校生を応募対象に加えた「人権作文コンテスト高知県大会」を実施しています。





## スポーツ組織連携事業

## 冠協賛試合を開催しました

日時：2017年9月10日（日）／ 参加者：402名  
場所：高知市営球場 ／ 協力：高知地方方法務局人権擁護課

高知市営球場にて、高知ファイティングドッグスVS香川オリーブガイナーズとの冠協賛試合「子どもの人権啓発ゲーム」を開催しました。

当日は、試合開始前と5回裏終了後に当センターの人権啓発マスコットキャラクター「こころん」と人権イメージキャラクター「人KENまもる君・人KENあゆみちゃん」が登場。グラウンド内にて横断幕「考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心」及び「子どもの人権110番」を掲げ、人権啓発のアナウンスも行うなど、スポーツを通して人権について考えてもらう機会になりました。

また、来場者には人権啓発冊子やグッズを配布し、アンケートにも協力していただきました。その結果「人権に対する関心や理解は深まりましたか」の問いには「大変深まった」「深まった」が84%、「このような催しを行うことがよいと思いますか」には、「積極的に行うべき」「行うべき」が96.9%と、高い評価をいただきました。

## アンケートより

- 初めて観戦し、この催しにも驚いたが良い取り組みだと思った。日常、様々な方々の様々な人権感覚に悲しい思いをすることもあるので、こういう啓発をぜひ続けて欲しいと思った。
- 身近な問題なので積極的に考えていきたいです。
- 日常はあまり気にしないが、イベントを兼ねてやれば意識するようになる。



1月19日（金）



講演会

平成29年度人権啓発研修ヒューマンパワー育成講座

## 講演会「いろいろなハラスメントへの対応と最新情報」

参加費無料 定員 80名（予約優先）

講師

三木 啓子 氏

(アトリエエム株式会社代表取締役、産業カウンセラー)

会場  
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール

14:00~16:00 ※受付13:30~

平成29年1月に男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正され、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント措置を講ずることが事業主に義務付けられました。企業としては、様々なハラスメントの防止に向けた雇用環境づくりを進めていく必要があります。今回の講座ではハラスメント防止の専門家を講師に招き、実践的な対策を学ぶ機会とします。

1月26日（金）



講演会

平成29年度人権啓発研修ハートフルセミナー

## 講演会「母親を介護して思うこと～高齢者の人権～」

参加費無料 定員 250名（先着順）

講師

綾戸 智恵 氏

(ジャズシンガー)

会場  
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール

14:00~16:00 ※受付13:30~

平成29年度 人権啓発研修ハートフルセミナー  
講演会「誰も排除されない災害への対応」

参加費無料 定員 80名（予約優先）

講師

田村 太郎 氏

(一般財団法人ダイバーシティ研究所  
代表理事、復興庁復興推進参与)会場  
開演

高知県立人権啓発センター6階ホール

14:00~16:00 ※受付13:30~

震災の現場や復興への道のりを見た時、高齢者、障害者、外国人をはじめ、地域での排除や孤立、差別や貧困、人との関係性のしんどさなどで、社会的に不利な立場に立たされている人たちに、より大きな困難が集中しています。こういった問題への取組には、時折の「訓練」だけでなく、日常における誰もが排除されないコミュニティづくりが大きな役割を果たします。

防災に向けた取組が、人権の視点を持ち、多様な社会的マイノリティとの協働や、コミュニティづくりと連動して行われる第一歩を共に考えましょう。

## 人権啓発研修ハートフルセミナー

## 映画「彼らが本気で編むときは、」の上映会を開催しました

日時：2017年10月22日（日）／ 参加者：135名  
場所：高知県立人権啓発センター6階ホール

生田斗真さん、桐谷健太さんら出演の映画「彼らが本気で編むときは、」の上映会を開催しました。台風が来る中での実施となりましたが、たくさんの方にご来場いただき、無事開催することができました。

この映画はLGBTをテーマにした作品で、第67回ベルリン国際映画祭で、ディ審査員特別賞と観客賞をダブル受賞した作品です。

## アンケートより

- 様々な人権について知り、理解して、偏見を碎かなければならない状況です。学んでいきたいと思います。
- 性の多様性だけでなく、子どもについても考えさせられる内容でした。理解が深まればと思います。
- 少数派の人、弱者の人への理解不足を感じ取るとともに、知ることの大切さを学びました。

## ヒューマンパワー育成講座

## 高知ファイティングドッグス監督 駒田徳広氏による講演会を開催しました

日時：2017年10月28日（土）／ 参加者：52名  
場所：高知県立人権啓発センター6階ホール

高知ファイティングドッグス監督 駒田徳広氏による講演会「組織力と人権」を開催しました。駒田監督のこれまでの経験からくる人の育て方や、監督する立場にある者の言動のあり方など、参考になるお話を聞くことができました。

## アンケートより

- 人を育てることは、その人をよく知ること（外からの知識ではなく）だと気づかせて下さいました。
- 「人権」を尊重するということは、やはり「人を思いやる」という事だと感じました。
- 本当に感動しました。今の職場でもまさに大切なところを話してくださいました。活かしていこうと思いました。

# 高知県立人権啓発センター利用案内

## じんけんライブラリーをご存知ですか？

### 5F じんけんライブラリー

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。  
ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

#### 利用方法

- ご利用の際は、「じんけんライブラリー」利用カードが必要です。  
カード発行は無料、その場でお作りします。
- 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者のご負担となります)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



#### 団体図書貸出について

小・中学校、高等学校ほか、地域で読書普及活動を行う団体やグループに、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。

## ホール、視聴覚室もご利用ください

### 6F ホール (収容人員 270人 机併用の場合は180人)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

基本使用料(平日)			時間外使用料
午前	午後	全日	平日時間外、土・日・祝祭日
9:00~12:00	13:00~17:00	9:00~17:00	1時間
8,490円	11,360円	17,880円	4,250円

冷暖房使用料…1時間 / 610円(1時間未満の時は、1時間として計算します)

- この表に定める時間区分には、実際に利用する時間のほか、その準備・片付けに要する時間を含みます。
- 時間外使用料は、利用時間が1時間未満でも1時間として計算します。

### 4F 視聴覚室 (利用無料 / 収容人員 48人)

視聴覚機器を利用する研修等にご利用ください。

※人権に関する研修等にのみ使用できます。



5F じんけんライブラリー



6F ホール



4F 視聴覚室

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください!



こころん

#### 編集後記

「こころん」と共に! 文:(公財)高知県人権啓発センター 研修啓発課長 山本淳一

季刊誌「こころんだより」を発行して3回目となります。以前のネーミングは「人権啓発センターだより」(第1号～第39号:最終号)でしたが、人権啓発マスコットキャラクター「こころん」の名前を付け、とても親しみやすく、カラフルで、読みやすい季刊誌になったのではないのでしょうか。

さて、当センターでは、人権を大切なものとして身近に感じられることを願い、地域の人権啓発イベント、企業や団体の人権研修事業、保育・幼稚園や学校での人権教育などで活用していただくために「こころん」の『着ぐるみ』を作成しました。

また、人権について楽しく学び、考え、人権意識が芽生える機会として、保育・幼稚園や小学校(低学年)での活用を願って「こころん」の『バベット(指人形)』や『オリジナル紙芝居「こころんといっしょにまちたんけん」』も作成しました。

これらの貸出も行っています。是非ともご活用ください。

人権啓発マスコットキャラクター「こころん」のキーホルダーを(60歳代のおじさんたちが)鞆・リュックサックに付け、日夜、人権啓発(教育)の推進に頑張っているこの頃です。



公益財団法人

高知県人権啓発センター <http://www.kochi-jinken.or.jp/>

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階  
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp

こころんだより Vol.3 2017年12月発行(年4回発行)  
制作・印刷: 有限会社ファクトリー 発行: 公益財団法人 高知県人権啓発センター

#### MAP

